

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504514(P2005-504514A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2002-587627(P2002-587627)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	3/04	(2006.01)
A 61 P	5/38	(2006.01)
A 61 P	7/00	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	9/12	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	21/00	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	31/18	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	37/00	(2006.01)
A 61 P	41/00	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 07 K	14/495	(2006.01)
C 07 K	14/52	(2006.01)
C 07 K	14/535	(2006.01)
C 07 K	14/705	(2006.01)
C 07 K	16/18	(2006.01)
C 07 K	16/24	(2006.01)
C 07 K	16/28	(2006.01)
C 07 K	16/40	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 N	9/14	(2006.01)
C 12 N	9/48	(2006.01)
C 12 N	9/64	(2006.01)
C 12 N	9/66	(2006.01)
C 12 N	9/76	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 P	21/08	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**

**【 F I 】**

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	5/38	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	14/495	
C 0 7 K	14/52	
C 0 7 K	14/535	
C 0 7 K	14/705	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/24	
C 0 7 K	16/28	
C 0 7 K	16/40	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	9/14	
C 1 2 N	9/48	
C 1 2 N	9/64	A
C 1 2 N	9/64	Z
C 1 2 N	9/66	
C 1 2 N	9/76	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	

**【手続補正書】**

**【提出日】平成17年4月6日(2005.4.6)**

**【手続補正1】**

**【補正対象書類名】特許請求の範囲**

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号2n (nは1~62の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列を持つ成熟型を含む単離ポリペプチド。

【請求項2】

配列番号2n (nは1~62の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む単離ポリペプチド。

【請求項3】

配列番号2n (nは1~62の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列に少なくとも95%同一なアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項4】

ポリペプチドが配列番号2n (nは1~62の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列中に1またはそれ以上の保存的置換を含むアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項5】

該ポリペプチドが天然に存在する、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項6】

請求項1に記載のポリペプチドおよび担体を含む組成物。

【請求項7】

請求項6に記載の組成物を1つまたはそれ以上の容器内に含む、キット。

【請求項8】

ヒトの疾患に関連する症候群を処置する医薬の製造における治療物質の使用であって、疾患が請求項1に記載のポリペプチドに関連する病変から選択され、治療物質が請求項1に記載のポリペプチドを含む、使用。

【請求項9】

試料中の請求項1に記載のポリペプチドの存在または量を測定する方法であって、  
(a) 試料を用意すること；  
(b) ポリペプチドに免疫特異的に結合する抗体に試料を導入すること；および  
(c) ポリペプチドに結合した抗体の存在または量を測定し、それにより試料中のポリペプチドの存在または量を測定すること  
を含む、方法。

【請求項10】

第1の哺乳動物の対象中の請求項1に記載のポリペプチドの発現の変化したレベルと関連する疾患の存在または素因を測定する方法であって、

a) 第1の哺乳動物の対象由来の試料におけるポリペプチドの発現レベルを測定すること；および

b) ステップ(a)の試料中の該ポリペプチドの発現を、該疾患または素因を有さないことが知られている第2の哺乳動物の対象由来の対照試料中に存在するポリペプチドの発現と比較すること

を含み、対照試料に比較するときの第1の対象中のポリペプチドの発現レベルの変化は、疾患の存在または素因を示す、方法。

【請求項11】

請求項1に記載のポリペプチドに結合する物質を同定する方法であって：

(a) 該ポリペプチドを該物質に導入すること；および  
(b) 該物質が該ポリペプチドに結合するか否かを測定すること  
を含む、方法。

【請求項12】

物質が細胞の受容体または下流のエフェクターである、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

病変の処置に用いるための潜在的治療剤を同定する方法であって、病変は請求項 1 に記載のポリペプチドの異常な発現または異常な生理学的相互作用に関係し、その方法は：

( a ) 請求項 1 に記載のポリペプチドを発現し、かつポリペプチドに起因する性質または機能を有する細胞を用意すること；

( b ) 細胞を候補物質を含む組成物と接触させること；および

( c ) 物質がポリペプチドに起因する性質または機能を変化させるか否かを測定することを含み；

それにより、もし物質の存在下に観察される変化が、細胞を物質の非存在下で組成物と接触させたときには観察されなければ、物質は潜在的治療剤として同定される、方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 に記載のポリペプチドに関連する病変の活性または潜在活性のモジュレーターまたは素因をスクリーニングする方法であって、その方法は：

a ) 請求項 1 に記載のポリペプチドに関連する病変のリスクが増大している被検動物に試験化合物を投与すること、但し、該被検動物は請求項 1 に記載のポリペプチドを組換え的に発現している；

b ) ステップ ( a ) の化合物の投与後に該被検動物中の該ポリペプチドの活性を測定すること；および

c ) 該被検動物中の該ポリペプチドの活性を、該ポリペプチドを投与されていない対照動物における該ポリペプチドの活性と比較すること、但し、該対照動物と比べた該被検動物における該ポリペプチドの活性の変化は、試験化合物が請求項 1 に記載のポリペプチドに関連する病変の活性または潜在活性のモジュレーターまたは素因であることを示す；を含む方法。

【請求項 1 5】

該被検動物が試験タンパク質の導入遺伝子を発現するか、または野生型被検動物に比べて増加したレベルでプロモーターの制御下に該導入遺伝子を発現する組換え被検動物であり、但し、該プロモーターは該導入遺伝子の天然の遺伝子プロモーターでない、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

請求項 1 に記載のポリペプチドの活性を調整する方法であって、請求項 1 に記載のポリペプチドを発現する細胞試料を、ポリペプチドの活性を調整するのに十分な量で該ポリペプチドに結合する化合物と接触させることを含む、方法。

【請求項 1 7】

請求項 1 に記載のポリペプチドに関連する病変を処置または予防する方法であって、そのような処置または予防が望まれる対象に、対象における病変を処置または予防するために十分な量で請求項 1 に記載のポリペプチドを投与することを含む、方法。

【請求項 1 8】

対象がヒトである、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

哺乳動物の病的状態を処置する方法であって、病的状態を軽減するのに十分な量でポリペプチドを哺乳動物に投与することを含み、ポリペプチドは、配列番号 2 n ( n は 1 ~ 6 2 の整数である ) からなる群から選択されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその生物学的に活性なフラグメントである、方法。

【請求項 2 0】

配列番号 2 n - 1 ( n は 1 ~ 6 2 の整数である ) からなる群から選択される核酸配列を含む、単離核酸分子。

【請求項 2 1】

核酸分子が天然に存在する、請求項 2 0 に記載の核酸分子。

**【請求項 2 2】**

核酸分子が、配列番号  $2n - 1$  ( $n$  は  $1 \sim 62$  の整数である) からなる群から選択される核酸配列から 1 個のヌクレオチドだけ異なる、核酸分子。

**【請求項 2 3】**

配列番号  $2n$  ( $n$  は  $1 \sim 62$  の整数である) からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドの成熟型をコードする単離核酸分子。

**【請求項 2 4】**

$2n - 1$  ( $n$  は  $1 \sim 62$  の整数である) からなる群から選択される核酸を含む、単離核酸分子。

**【請求項 2 5】**

請求項 2 0 に記載の核酸分子であって、該核酸分子が配列番号  $2n - 1$  ( $n$  は  $1 \sim 62$  の整数である) からなる群から選択されるヌクレオチド配列または該ヌクレオチド配列の相補体に厳密な条件下でハイブリダイズする、該核酸分子。

**【請求項 2 6】**

請求項 2 0 に記載の核酸分子を含むベクター。

**【請求項 2 7】**

該核酸分子に機能し得るように結合されたプロモーターをさらに含む、請求項 2 6 に記載のベクター。

**【請求項 2 8】**

請求項 2 6 に記載のベクターを含む細胞。

**【請求項 2 9】**

請求項 1 に記載のポリペプチドに免疫特異的に結合する抗体。

**【請求項 3 0】**

抗体がモノクローナル抗体である、請求項 2 9 に記載の抗体。

**【請求項 3 1】**

抗体がヒト化抗体である、請求項 2 9 に記載の抗体。

**【請求項 3 2】**

請求項 2 0 に記載の核酸分子の存在または量を試料中で測定する方法であって：

(a) 試料を用意すること；

(b) 該核酸分子に結合するプローブに試料を導入すること；および

(c) 該核酸分子に結合した該プローブの存在または量を測定し、それにより試料中の核酸分子の存在または量を測定すること

を含む、方法。

**【請求項 3 3】**

核酸分子の存在または量が、細胞または組織のタイプに対するマーカーとして使用される、請求項 3 2 に記載の方法。

**【請求項 3 4】**

細胞または組織のタイプが癌性である、請求項 3 3 に記載の方法。

**【請求項 3 5】**

第 1 の哺乳動物の対象における請求項 2 0 に記載の核酸分子の発現の変化したレベルと関連する疾患の存在または素因を測定する方法であって：

a) 第 1 の哺乳動物の対象由来の試料における核酸の発現レベルを測定すること；および

b) ステップ (a) の試料中の該核酸の発現レベルを、疾患または素因を有さないことが知られている第 2 の哺乳動物の対象由来の対照試料中に存在する核酸の発現レベルと比較すること；

を含み；

対照試料に比較するときの第 1 の対象における核酸の発現レベルの変化は、疾患の存在または素因を示す、方法。

**【請求項 3 6】**

ポリペプチドの発現を導く条件下で細胞を培養することを含む方法であって、該細胞が

配列番号  $2^n - 1$  (  $n$  は 1 ~ 62 の整数である ) からなる群から選択される核酸配列を含む単離核酸分子を含むベクターを含む、請求項 1 に記載のポリペプチドを産生する方法。

【請求項 37】

細胞が細菌細胞である、請求項 36 に記載の方法。

【請求項 38】

細胞が昆虫細胞である、請求項 36 に記載の方法。

【請求項 39】

細胞が酵母細胞である、請求項 36 に記載の方法。

【請求項 40】

細胞が哺乳類細胞である、請求項 36 に記載の方法。

【請求項 41】

ポリペプチドの発現を導く条件下で細胞を培養することを含む方法であって、該細胞が配列番号  $2^n - 1$  (  $n$  は 1 ~ 62 の整数である ) からなる群から選択される核酸配列を含む単離核酸分子を含むベクターを含む、請求項 2 に記載のポリペプチドを産生する方法。

【請求項 42】

細胞が細菌細胞である、請求項 41 に記載の方法。

【請求項 43】

細胞が昆虫細胞である、請求項 41 に記載の方法。

【請求項 44】

細胞が酵母細胞である、請求項 41 に記載の方法。

【請求項 45】

細胞が哺乳類細胞である、請求項 41 に記載の方法。